

平成 29 年度第 2 回日進市総合戦略推進委員会 議事録

日 時 平成 29 年 11 月 9 日 (木) 午前 10 時から午前 11 時 35 分まで
 場 所 日進市役所本庁舎 4 階第 1 会議室
 出 席 者 坂井陽二、福安克彦、石黒秀一、鶴飼宏成 (委員長)、亀倉正彦、河瀬英一、
 三村剛、伊藤正仁、山本康弘、平真弓
 欠 席 者 なし
 事 務 局 金山敏和 (企画部長)、川合陸仁 (企画政策課課長補佐)、
 秋山純一 (企画政策課市政戦略係主事)
 説明の為に
 出席した者 山田進 (生活安全課長)、福島勝之 (生活安全課課長補佐)、
 蟹江健二 (産業振興課長)、鈴木敦詞 (産業振興課課長補佐)
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 なし
 次 第 1 開会
 2 あいさつ
 3 議題
 (1) 主要事業の進捗状況について
 ・施策 3-1 地域内経済や観光の活性化、創業の支援
 ・施策 3-2 便利で安全安心な暮らしの実現
 配 付 資 料 日進市人口ビジョン・総合戦略について
 資料 1 地域内経済や観光の活性化、創業の支援について
 資料 2 便利で安全安心な暮らしの実現について

	1 開会
	2 あいさつ
	(委員長職務代理者指名、委員長が河瀬委員を委員長職務代理者に指名)
委 員 長	前回委員会時に委員から質問のありました総合戦略の目的等について、企画政策課から改めて説明をお願いします。
企 画 政 策 課	(日進市人口ビジョン・総合戦略についてに基づき説明)
委 員 長	ただいまの説明について、ご質問やご意見等はございますか。
	(なし)
	3 議題
	(1) 主要事業の進捗状況について
委 員 長	議題 (1) のうち、「施策 3-1 地域内経済や観光の活性化、創業の支援」について、産業振興課から説明をお願いします。
産 業 振 興 課	(資料 1 に基づき説明)
委 員 長	ただいまの説明について、ご質問やご意見等はございますか。

委員	<p>総合戦略の概要版をみていただければわかるように、日進市の総合戦略では、3つの基本目標が掲げられていますが、この3つの基本目標が現時点ではうまく連携していないため、それぞれの基本目標を相互連携することを検討してはいかがでしょうか。現在、文部科学省と厚生労働省が一緒になり放課後子ども総合プランを推進していますが、それだけでは勿体ないと思います。一線を退いた高齢者は様々な分野でスキルを持っている方で、時間を持て余している場合があります。このような方々に、ただ単に子どもを預かっていただくだけではなくて、ちょっとした教育のサポートしていただくことで、高齢者も居場所があり、子どもたちも単に宿題をするということではなく、日進市を感じるようなことを学ぶことができるような仕組みを作ればいいなと思います。このようなプログラムを含めて日進市の活力を生み出すような取組をまちミル博覧会で行えると考えています。このような取組に対して創業支援と連携するような仕組みが整っていくと、創業者の候補者の裾野の拡大につながると思います。この場で解決する問題ではないと思いますが、今後検討していただけたらと思います。</p>
委員長	<p>資料1の今後の展開等の観光DMOとの連動に関連した意見だと思います。むしろ今日のテーマと関連して、創業支援の資源がどこにあるのかと考えた時に、スーパーマンのような人がくるのを待つだけではなくて、市内にも創業の資源はあるのだという指摘だと思いますし、さらに創業支援のあり方というのも営利追究型からコミュニティビジネスと言われている事業の継続性や採算性は保障されるけれど、営利追及だけではなく、地域の課題に応じていくような事業というものもこの対象に入るのではないかと指摘だと思います。そう考えると小さなビジネスが出てくることも、自己雇用プラス多少の雇用を発生させていくことで、有効求人倍率の改善にも繋がっていくということが考えられるのだと思います。委員の中にも、まちミル博覧会のことをよく理解している方とそうでない方がいらっしゃると思います。子育てや高齢者の支援という分野の事業領域においても創業支援が非常に重要になってくるし、地域内経済の雇用創出に繋がると思います。私自身、市外の地域において創業支援に携わっていますが、より重要なことは、決して大きな企業でなくても、社会に携わる人が増えていくことで、まちに対する関心が高まってくるので、もちろん色々なことをいう人も増えると思いますが、それだけ地元への愛着であったり、人に頼り過ぎない、自分でなんとかするという土壌が涵養されてくるということを経験的に学んできました。日進市が行おうとしていることは自立型の人材で地域が成り立つという社会を創ろうとしていると感じています。</p>
委員	<p>創業は、市内で創業しなければならないのでしょうか。</p>
産業振興課	<p>今回、3市1町で創業支援計画の認定を受けましたが、このエリアの人口は約25万人程度となり単独で実施する場合よりもスケールメリットがあります。3市1町で創業支援をしていくことで、特定創業支援事業と位置付けられると、証明書が発行されます。この証明書を持っていると、3市1町の中で創業する際に</p>

	は、登録免許税の軽減措置や信用保証枠の拡大などの恩恵を受けることができます。
委員	自分の働き方をまとめてみたかったため、商工会議所で実施したセミナーを受講したことがあります。無料にも関わらず、非常に細やかな説明をしていただきました。
産業振興課	委員のような方が増えていくことで、地域経済の活性化に繋がっていくと考えております。
委員	なぜこのような支援をしていただけるのかがわかりませんでした。今の説明でわかりました。すごくいいことを行政はしてくれているのだけれども、市民からしてみると創業支援の取組はどのようなことをしているのかがわかりにくい。市町によって相談窓口のある課が違うのも市民からするとわかりにくいです。
産業振興課	現在は、各市町の各商工会や資料に記載されている金融機関に相談していただければ、カルテを作成し、さらに相談内容により適切な支援機関をご案内するワンストップの相談窓口ができました。
委員	例えば創業したいと思っても、どこに相談すればよいかわからないというような初心者にもわかりやすいような体制にしてほしいです。初心者にとっては最初の一步を踏み出すのはとても難しいと思います。女性においてもよいアイデアを持っている人が沢山いますが、やっぱり敷居が高いと感じている人が多いと思います。
委員	私自身もまちミル博覧会に参加しているのですが、この博覧会自身を知らなかったり、募集期間も短いなど非常に厳しいですが、関わりを持ちたいということで参加させていただきました。この手法は市民に一番届きやすい方法だと思いますので、まずはこの博覧会を開催していることを市民に届くようにしていただきたいです。そして、このようなことから創業に繋がっていくのだということが伝えられるといいのかなと思います。先ほどの説明を聞いて、コミュニティビジネス分野で創業できるのかなと興味を感じましたので、創業に入っていけるような入り口が沢山あるといいのかなと思います。また、月1回にぎわい交流館でお気軽に相談に来てくださいという相談会があるといいのかなと感じました。
産業振興課	平成28年度に12月から3月の第2、第4の木曜日に午前の部は午前9時から正午まで、夜の部は、午後7時から午後9時までの時間帯に、創業って何だろうと気軽に相談できるようなビジネスカフェを開催していました。広報やホームページで周知はしましたが、市民の皆さんに行き届かなかったのか、参加者はそこまで多くありませんでした。
委員	半年間から1年間くらいの間、毎月この曜日に開催していますという方が、告知もしやすいし、市民からしても行きやすいのかなと思います。
産業振興課	創業したいと感じている人同士が交流できるような機会を設けてほしいという意見を踏まえ、今年度は創業者の交流会を開催しようと考えています。まちミル博覧会の参加者は趣味の延長で参加している人もいますが、実はテストマーケティング

	<p>イングの場でもあります。日本政策金融公庫と相談しながら今回のスキームで実施することになりました。</p>
委員	<p>まずは、まちミル博覧会に参加している人だけでもいいので、資料1の今後の展開等に記載されているような仕組みを理解してもらえるといいと思います。私自身、純粹にまちミル博覧会に参加してみようと思い参加しましたが、今日説明を受けたような仕組みはイメージしていませんでした。カフェ形式にすると、その場に行き、私はこういうビジネスをしたいということを説明する必要がでできます。そうではなくて、まずはただ説明を聞くようなものがあるのもいいのではないかと感じます。</p>
産業振興課	<p>ビジネスカフェについては、今委員が言われたことを想定していました。そしてもう少し詳しく知りたいという人には、入門セミナーや実践創業セミナーへの参加に繋がっていくことを目指しています。</p>
委員	<p>ビジネスカフェのような形式だと自分にやりたいことが明確にない人は行きにくいと思います。</p>
委員長	<p>すごく大きな意識差、理解差があるということがわかりました。まちミル博覧会と創業は実は表裏一体なんだという構想はあるので、実現していくといいと思います。</p> <p>ビジネスカフェという手法は決して悪い手法ではないと思います。敷居の高さ云々というのはありますが、ビジネスカフェだけをやるのではなく、創業支援のサイクルの一部に位置付けられるものなので、ビジネスカフェの前後にどんなことをしていく必要があるのかを考えていくことが重要だと思います。またまちミル博覧会においては、他自治体の例をみても成果がでる手法だということがわかります。私の卒業生もある町でおんぱく手法の導入を検討していますが、ソフト面、運営面での継続性について、当初の段階において相当の熱意が必要であると感じております。</p>
委員	<p>にぎわい交流館は市の施設ですか。</p>
産業振興課	<p>そのとおりです。</p>
委員	<p>私だけの感覚かもしれませんが、この建物はすごく入りにくい雰囲気があります。うまく説明できませんが、もう少し明るくなるといいと思います。実現できるかはわかりませんが、今の外観は大変どんよりとしているので、外装をすべて塗り替えるといいかもしれません。女性にとっては、色合いは非常に重要な要素となってきます。にぎわい交流館において、非常にいいことをしていることは理解していますが、私の感覚だけかもしれませんが、あまり居心地がよくありません。このため、可能な範囲でいいので、みんなが居心地がよい空間作りをしてほしいと思います。にぎわい交流館という名称なのに、にぎわっていないと感じてしまいます。</p>
委員	<p>にぎわい交流館は、市民活動団体が利用登録をして使う場であります。このため、市民活動団体に属していない人は入りにくいと思います。外装や内装を変え</p>

	ていくということになれば、一般の市民に提供することを増やす必要があると思います。
委員長	企画は良くても実施する場所が問題であるという指摘だと思います。実施する場所は必ずしも市の施設で行う必要はないというご示唆だと思います。
委員	<p>創業支援セミナーの講演もPR不足のためか人の入りが少なかったです。講師の方にも力が入らないと言われてしまいました。創業支援という名前を変えることはできないかもしれませんが、この名称だと、創業を考えている人しか対象ではないのかと感じているのかもしれませんが。</p> <p>にぎわい交流館の経緯ですが、元々はうどん屋であったため、今のような外観になっています。しかし、外装をかえるということは悪いことではないので、予算があれば実施することも検討してはいいのかなと感じます。</p>
委員	<p>今回の説明を受けて、よい取組だと感じました。以前、日本銀行名古屋支店の人と話す機会があったのですが、日本では年間3万社余りの企業が廃業になっているとのことでした。このため、新しい企業を支援していくことは大切だと感じました。銀行は新しい企業を育てるということは苦手な分野であり、過去の実績をもとに、融資を決めることが多いです。どちらかというとなら創業を考えている人にとって銀行は敷居が高いのかもしれませんが。このため、自治体や商工会がトスアップしていただければ、融資の話ではなくても、お手伝いさせていただけることがあるかもしれません。</p>
委員	<p>思いつきとなってしまいますが、総合戦略を改めてみると、基本目標1や2は市内に住んでいる人や転入を促すような施策という印象を受けますが、基本目標3は経済、雇用、創業といったような分野であり、基本目標1や2とは隔たりのあるような気がしますが、基本目標1や2と基本目標3を結びつけるような動き、例えば市内に創業される方に対して、基本目標1や2に関連する業種であれば、日進市独自の補助や援助を受けられるような仕組みを作ることができるとよいのではないかと感じました。子育て分野で言えば、民間保育所の開設、健康長寿の分野で言えば、介護施設、介護タクシーといった分野の創業に優遇制度を設けるなどという考え方もあるのではないかと感じました。</p>
委員長	<p>理にかなった提案だと思います。丹波篠山では古民家を再生することで観光需要が増え、住民が増え、雇用が増えといったことをここ5年間くらいで実現してきた人たちがいます。具体的には、この地域には、この事業者が足りないので、今度この古民家再生の時には、この業種にターゲットを絞ろうというようなことをしていました。この考え方に沿って考えてみると、日進市で必要な業種を宣言することも従来の長期的な視野でみる総合計画とは違う短期的な視野で考える総合戦略の中で成果をあげていくことを考えるとよい方法だと思います。今、日本全国ではやっているものが、静岡県富士市のf-Biz方式であったり、愛知県内ならば岡崎市のOKa-Bizのようなbiz方式だと思います。このような考えだと創業を希望する人と、既存事業を結びつけたり、隠れた資源について、マスコミを使って</p>

	P Rしたりする方法もあつたりします。日進市版の創業支援においては、新しい方式を検討する時期にきたのかもしれませんが。
委 員 長	引き続き議題 (1) のうち、「施策 3-2 便利で安全安心な暮らしの実現について」、生活安全課から説明をお願いします。
生 活 安 全 課	(資料 2 に基づき説明)
委 員 長	ただいまの説明について、ご質問やご意見等はございますか。
委 員	日進市は侵入盗が多いとのことですが、こういった手口が多いのでしょうか。
生 活 安 全 課	窓からの侵入が多いと聞いています。このため警察と共に、市民に補助錠や防犯フィルムを貼るように啓発しています。
委 員	自己で防犯対策を進めていくと共に、行政から情報を発信していくことが重要だと感じました。防犯アドバイザーが巡回したり、地域で防犯に取り組むことも大事だと思います。
委 員	市役所の駐車場に防犯カメラは設置されているのでしょうか。
生 活 安 全 課	ついていません。
委 員	私事で恐縮ですが、昨年度、この委員会が終わった後、駐車場に戻ったら私の車の一部が凹んでいました。この件以降、隣に駐車している車を覚えるようにしていますし、市役所の駐車場を利用される方は高齢の方が多いという印象があります。土日もエコドームの利用者などある程度の数の自動車が駐車していますので、市役所の駐車場に防犯カメラをつけることを希望します。 また、スマートインターチェンジができることによる治安の悪化について漠然と心配している市民がいるのではないかと感じています。スマートインターチェンジから、市外から車がきて、市内で盗難し、すぐに市外へ出て行くといったような手口が発生するのではないかと思うからです。スマートインターチェンジはどの辺りにできる予定なのでしょうか。
生 活 安 全 課	現在は、東郷パーキングエリア付近を予定しています。
委 員	前回の委員会でも交通渋滞の話をしたのですが、観光誘致、経済の活性化を推進すると、市外から来る人が増えるため、これに紛れて窃盗団がくるということも考えられると思います。住みやすさと経済の活性化は相反するものがあると思います。住みやすさと経済の活性化の接点を探っていく必要があると思います。
委 員 長	犯罪の撲滅は不可能な領域だと思います。このため、どの程度まで数を減らすということは、警察が経験的に数値を把握していると思いますので、密な連携をとっていただきたいと思います。自分の身は自分で守る、持ち家の防犯については行政が入りにくい部分になるので、個人の意識が高まっていかなないと、犯罪の件数は減らないと思います。
委 員	説明の中で交番設置の話がありましたが、一昔前は各交番に警察が常駐していました。最近の交番は 24 時間警察がいるわけではないと思います。交番の中に入ると電話が設置してあり、この地域だと愛知署にかけるような説明書きがあるのだと思います。このようになったのは人手不足や経費不足といったことが理由

	<p>として挙げられると思います。今、警察自身は交番があることによる犯罪の抑止力や効果についてどのように考えているのでしょうか。必ずしも交番設置にこだわらなくてもいいのではないのでしょうか。別の方法があるのではないのでしょうか。</p>
生活安全課	<p>交番に人がいない時があるのは事実としてあります。市としては、交番の設置の要望とともに、愛知署に対して警察の増員を要望として出しています。</p>
委員	<p>11月24日に赤池にプライムツリーがオープンします。長久手市のイオンやイケアのオープン以降、侵入盗の増加が続いているという話を聞いたことがあります。日進市においてもプライムツリーがオープンした後は数か月は交通混雑が予測されます。商工会から愛知署へしっかりとした対策をとるよう依頼はしておりますが、商工会から依頼するだけではなく、市からも愛知署へ交通対策の依頼をしていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>他に意見がないようですので、事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>委員の皆様、それぞれのご専門やご経験から大変貴重なご意見をいただき、大変参考になりました。</p> <p>以上をもちまして、平成29年度第2回日進市総合戦略推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>
	<p>閉会</p>